

2024年12月1日

## R6 年度(大和市)交友会「楽しもう！！ ニュースポーツ」参加

林 但

本日、表記に参加する機会を得ました。きっかけは 11 月の宮崎での全国研究協議大会受賞者県祝賀会の後、大和市の方とさらに交流を深める場での話です。①スポーツ玉入れを行う ②スポーツ推進委員と社会体育振興委員の合同でイベントを行うということでした。関心のあるテーマであり見に行ってもよいか尋ねたら招待がありました。

第1部は 8:45 からスポーツ推進委員事前ミーティングの後コート準備、9:15 からは開会式、9:30 からデモンstrーションとルール説明、9:50 頃から 24 チームに分かれ予選会 15 分くらいの休憩をはさみ、上級・中級・初級に分かれ順位決定戦でした。

### <スポーツ玉入れ:通称えび玉>

- ・1990 年に北海道の和寒町で、だれでも気軽に参加できるニュースポーツとして「全日本玉入れ競技」が誕生、同年「全日本玉入れ協会(AJTA)」設立。
- ・2009 年に AJTA ルールを基本に考案された、第1回のえび玉競技大会が海老名市で開催された。  
今では一般・レディース・ジュニア・シニア・ファミリーの 5 部門に 200 チーム？を超える参加があるらしい。
- ・県央ブロックの研修会で紹介され今大和市も2セットを持ちスポーツフェスタなどで行っているとの事。
- ・今回は準備 20 秒、アンカーボールを含め 60 個のボールをバスケットの高さ 3.5mに予選会(2回)は 60 秒入れられるか、順位決定戦(1回)は 180 秒で競った。
- ・きわめてわかりやすいがやってみると奥の深い競技である、その日のうちに足腰がいたくなってきた。
- ・正式な高さは和寒町の冬の最低気温(マイナス 41.2)からとった 4.12m、ボールは 100 個で競うとの事。

### <スポーツ推進委員と社会体育振興委員>

- ・スポーツ推進委員と市の大きなイベントに参加するが主は地域のことをする社会体育振興委員があるとの事。  
また、自治会(町内会)から選ばれた体育委員と先に記入の2つ委員で構成された人で、体育振興会を構成。  
体育振興会長は拝見したところ 70 歳前後の自治会長等経験者のようである。
- ・今回の交友会は年に 1 回 12 月初めの日曜日に行い、今回も 120 名を超える方が参加されていた。
- ・2 年に 1 回の新任研修会にはこの両方の方が参加して役割や非常勤職員、コンプライアンスなどについて研修と会長以下執行体制側との意見交換を行っている。
- ・ユニホームは 4, 5 年に 1 回配布。スポーツ推進委員と社会体育振興委員、体育振興会は服も異なる、体育振興会は自分たちでデザインも変え費用も自分たちで作っている。見るとどの立場の人かすぐわかる。
- ・今回も体育振興会長は開会式で一言ずつ話をされた。体育振興会長のユニホームは市が地域名入りで作っていただける。
- ・体育振興会長の会議は3~4 回/年、スポーツ推進委員と体育振興会長の兼務はない。

### <感じた事・気づいたこと> 池田副会長と一緒に参加。

- ・年々人口も増加傾向にあり市には勢いがある、またスポーツ推進委員には期待しており、活動もできている。

- ・スポーツ推進委員、社会体育振興委員と体育振興会からなる3層構造で、なり手不足の課題はあるものの上手に取り組んでおられる。また、これら3者の意思疎通が良いように感じた。
- ・スポーツ課の事務局は会場の体育館内にある。冒頭に部長も挨拶された。
- ・第二部では情報交換会を行ったが、えび玉の表彰や抽選で賞品などもある。一番盛り上がったのは10地域ごとの活動紹介である。それぞれ特徴ある紹介、社会体育振興委員や体育振興会の中に意欲ある人・能力ある人などが第1部：えび玉や第2部を見ていてもわかった。
- ・大和市は「スポーツのまち推進」を旗印に力を入れている、スポーツ推進委員協議会担当も正・副の担当がおられる。10月1日で担当が交代。
- ・横須賀で学区ごとの行事を見て回るつもりで考えていたら、しっかり取り組んでおられ学ぶことや気づきの多い交友会であった、本当にありがとうございました。

### <写真で紹介>



開会式 中央で古市会長挨拶  
手前体育振興会会長



開会式  
手前右は部長、副会長他



ボール 60 個



事前の準備組み方の例と  
おがみ投げの例



準備後スタート前体形



投げる場面



投げる場面



優勝チーム



予選で唯一 1 分以内  
順位決定戦で逆転  
され準優勝チーム



体育振興会紹介1



体育振興会紹介2



抽選で賞品ゲット  
池田さん 一言